

# 「DX 実現のためのカイゼンリーダー養成講座」 受講者募集

～トヨタ生産方式の考え方を元にした研修で DX を推進する～

ぎふIT・ものづくり協議会では、会員企業のDXを推進するために、DX人材育成研修を開催します。この研修では、ムダなコストを排除し新たなサービス・付加価値のある仕事に取り組めるような職場を実現できる人材を育成します。

**参加費無料**

ぎふIT・ものづくり協議会  
会会員に限る

「DX人材を育成しなければならないがどんな能力が必要なの?」

「今の仕事でも忙しいのにデジタルを使ったビジネスに移行する必要があるの?」

「DXっていう言葉に踊らされたくない。」

こんな課題を抱える会員の皆さまに最適な研修です。是非参加検討下さい。

- 【日 程】 ① 令和4年8月25日(木) 10:00～16:00  
② 令和4年8月31日(水) 10:00～16:00  
上記①②の2日間 (講義内容等は裏ページ参照)
- 【講 師】 合同会社 アイティ・マネジメント研究所 CEO 高木 徹 氏
- 【会 場】 岐阜県図書館 (岐阜市宇佐4丁目2-1) 研修室1及び 研修室2  
無料駐車場あり
- 【開催形態】 集合型のリアル形式
- 【対 象】 DX関連部署に所属する人、現場リーダー、その他
- 【募集人数】 12名 (3人×4グループ)  
※ 1名から参加いただけますが、1会員あたり3名を上限とします。  
※ 2日間の研修です。両日とも参加いただくことが必要です。
- 【申込方法】 下記の申込みフォームよりお申し込みください。  
<https://gifu-itmonodukuri.jp/archives/7438>
- 【参加費】 ぎふIT・ものづくり協議会 会員：無料  
(会員でない方も年会費を負担していただくことで、会員として参加いただけます。  
年会費1社30,000円)  
非会員：1名40,000円(税込)
- 【申込締切】 令和4年8月15日(月)
- 【その他】 受講決定後、受講票をお送りしますので、当日受付までご持参ください。
- 【共 催】 ぎふIT・ものづくり協議会、岐阜県図書館
- 【問 合 先】 ぎふIT・ものづくり協議会 事務局 (担当：北村・山内)  
(〒503-8569 岐阜県大垣市加賀野4丁目1番地7(公財) ソフトピアジャパン内)  
TEL:0584-77-1188 FAX:0584-77-1107 E-mail:info@gifu-itmonodukuri.jp



[プログラム概要紹介]

<b>DXに向けて必須の組織マネジメントの標準書とは何かを学びます。</b>	
step 1	DXに本当に必要な人材とはどのような人材かをご説明します。また、世界を席卷しているLean(アジャイルやリーンスタートアップの源流)について正しく知って頂きます。
step 2	「仕事の3要素」を知る、知らないで、やりがい、職場の活性度、生産性は大きく変わります。自分の仕事は一体どれだけの価値を生み出しているかの観察方法を学びます。
step 3	実際に「仕事の3要素」で分類すると自分は価値を生み出しているつもりでも実は価値のない仕事をしている場合があります。事実を正しく認識して改善する方法を学びます。

[講義内容 (概要)]	
1日目	2日目
<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>慢性化疾患に陥っている企業とは(DXを阻害する要因の数々)</li> <li>海外に広がっているリーンマネジメント</li> <li>DXで求められる組織文化(価値観・原則)</li> </ul> <p><b>【ワークショップ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組織の価値定義(仕事の3要素)</li> <li>観察することで見えてくる付加価値時間</li> <li>組織の価値定義3つの問い</li> </ul> <p><b>【自主作業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の実際の仕事を記録し分析する</li> </ul>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マネジメントの標準(カタ)とは何か?</li> <li>カタで飛躍的にマネジメントレベルが向上。</li> <li>問題解決型の改善だけでは定着しない</li> <li>管理型から自律型に変わるための方法</li> </ul> <p><b>【ワークショップ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕事の3要素の分析と報告</li> <li>正味作業を増せない理由は何か?</li> <li>マネジメントの標準書とは何か?</li> <li>作成してわかる混在している目的と手段</li> </ul>

テキストは「Woven Basic」(NextPublishing Authors Press)を使用します。(参加者には支給します。)